



2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年4月23日

上場会社名 株式会社 オービック
 コード番号 4684 URL <http://www.obic.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋 昇一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 阿南 友則

TEL 03-3245-6510

定時株主総会開催予定日 2020年6月26日

配当支払開始予定日

2020年6月29日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	80,488	8.5	43,238	14.0	46,012	9.7	35,096	8.9
2019年3月期	74,163	11.0	37,939	17.4	41,927	17.9	32,223	22.7

(注) 包括利益 2020年3月期 33,036百万円 (2.6%) 2019年3月期 32,201百万円 (13.6%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	394.56		15.4	18.1	53.7
2019年3月期	362.26		15.5	18.0	51.2

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 3,455百万円 2019年3月期 3,564百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	264,596	238,392	90.1	2,680.06
2019年3月期	244,909	218,476	89.2	2,456.16

(参考) 自己資本 2020年3月期 238,392百万円 2019年3月期 218,476百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	31,999	9,238	13,120	129,612
2019年3月期	29,843	8,209	11,119	119,972

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		57.50		77.50	135.00	12,008	37.3	5.8
2020年3月期		70.00		90.00	160.00	14,232	40.6	6.2
2021年3月期(予想)		80.00		80.00	160.00		40.4	

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	84,000	4.4	45,300	4.8	49,300	7.1	35,200	0.3	395.73

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	99,600,000 株	2019年3月期	99,600,000 株
期末自己株式数	2020年3月期	10,649,548 株	2019年3月期	10,649,488 株
期中平均株式数	2020年3月期	88,950,476 株	2019年3月期	88,950,576 株

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	70,811	8.8	41,599	14.2	42,275	11.4	31,854	11.0
2019年3月期	65,068	10.8	36,419	16.9	37,934	16.3	28,700	21.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	358.11	
2019年3月期	322.65	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	215,058	192,229	89.4	2,161.08
2019年3月期	197,473	174,733	88.5	1,964.39

(参考) 自己資本 2020年3月期 192,229百万円 2019年3月期 174,733百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する事項)	17
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13
4. その他	14
受注及び売上の状況	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、緩やかな回復基調で推移してきましたが、年度の後半には新型コロナウイルス感染症の影響により足元で大幅に下押しされ、景気の先行きは不透明な状況にあります。

当情報サービス業界においては、働き方改革への取り組みなどを背景に、企業の生産性向上や業務効率化を目的としたシステムの更新投資需要は引き続き高い状態にあるものの、先行き不透明な景況感の中で投資判断には慎重さが見られました。企業のニーズは「効率的でコストパフォーマンスの高い情報システム」にあり、さらなる顧客目線でのシステム提案が求められております。

当社は、このような状況の中、自社開発・直接販売にこだわり続け、顧客企業の経営効果を実現するため、製販一体体制のもと顧客満足度を高めるべく努めてまいりました。当社の主力である統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」は、会計を中心に統合的に情報を管理するERPシステムとして、様々な業界・業種の企業に幅広く求められました。主な傾向として、大企業向けのシステム構築が引き続き順調に推移しております。業種・業務別のソリューションに関しても、金融業向け、サービス業向け、流通業向け、製造業向け等、業種を問わずシステム構築の引き合いが強まりました。システムの早期稼働につながりやすく、グループ全体の最適化やビジネス環境の変化にもスピーディに対応できるクラウドサービスのニーズにも、自社運営のクラウドセンターで提供し対応しております。また、かねてより建設していたオービック御堂筋ビル(大阪府大阪市平野町)につきましても、1月に竣工し、2月に大阪本社が移転後、営業を開始いたしました。創業の地大阪に新たな活動拠点を得て、最新設備の活用や利便性の向上により、さらなるビジネス強化に寄与していくものと考えております。

この結果、当連結会計年度の連結業績は、売上高804億88百万円(前年同期比8.5%増)、営業利益432億38百万円(同14.0%増)、経常利益は460億12百万円(同9.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は350億96百万円(同8.9%増)となりました。

今後も当社は、顧客第一主義のもと、よりコストパフォーマンスの高いシステム提案ビジネスに注力し業績の向上に努めてまいり所存であります。

セグメントの業績は次の通りであります。

(A) システムインテグレーション事業

主力の統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」は、統合的に情報を管理するERPシステムとして、様々な業界・業種の企業に求められました。主な傾向として、大企業向けのシステム構築が引き続き順調に推移しております。

この結果、外部顧客に対する売上高は394億65百万円(前年同期比3.8%増)、営業利益は205億12百万円(同7.8%増)となりました。

(B) システムサポート事業

主力サービスであるシステムの「運用支援サービス」および「クラウドソリューション」が好調に推移いたしました。

この結果、外部顧客に対する売上高は313億38百万円(前年同期比15.8%増)、営業利益は210億35百万円(同21.1%増)となりました。

(C) オフィスオートメーション事業

業務用パッケージソフトの販売に加え、印刷サプライやオフィス家具等の販売も堅調に推移いたしました。

この結果、外部顧客に対する売上高は96億85百万円(前年同期比6.4%増)、営業利益は16億90百万円(同9.0%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産合計残高については、前連結会計年度末比で196億86百万円増加し2,645億96百万円となりました。これは主に、現金及び預金が96億40百万円増加したこと及び有形固定資産が100億99百万円増加したことによるものであります。

負債合計残高は、2億28百万円減少し262億3百万円となりました。

純資産合計残高は、199億15百万円増加し2,383億92百万円となりました。これは主に、利益剰余金が219億76百万円増加したことによるものであります。結果、自己資本比率は90.1%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(単位：百万円 百万円未満は切捨て表示)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,843	31,999
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,209	△9,238
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,119	△13,120
現金及び現金同等物の増減額	10,514	9,640
現金及び現金同等物の期首残高	109,458	119,972
現金及び現金同等物の期末残高	119,972	129,612

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、1,296億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ、96億40百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、319億99百万円であります。これは主に税金等調整前当期純利益が479億5百万円計上されたほか、利息及び配当金の受取額が19億32百万円計上された一方で、持分法による投資利益が34億55百万円計上されたこと及び法人税等の支払額が127億86百万円発生したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、92億38百万円であります。これは主に償却債権の回収による収入が24億98百万円発生した一方で、有形固定資産の取得による支出が124億90百万円発生したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、131億20百万円であります。これは主に配当金の支払額が131億20百万円発生したことによるものであります。

なお、今後とも資金を企業の業績伸長のため有効に使用しつつ、「効率経営」に努力をしまっている所存であります。

(4) 今後の見通し

この先の我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により先行きが不透明な状況が続くと見込まれます。また、感染症が内外経済をさらに下振れさせるリスクが懸念されます。

当情報サービス業界においては、感染症対策も含めた働き方改革への取り組みなどを背景にシステム投資需要の緩やかな増加が続くことが予想されるなか、企業のニーズは「効率的でコストパフォーマンスの高い情報システム」にあり、さらなる顧客目線でのシステムの開発力や提案力が求められています。

当社は自社開発の製品を直販体制によりお客様におとどけする「ワンストップ・ソリューション・サービス」を基軸に置き、顧客の潜在的ニーズを的確に捉える「製販一体体制」の強みを活かし、今後とも企業業績の伸長に努めてまいります。また、一層の高まりが予想されるクラウドニーズに対応するためのクラウド関連施設の増強や政府の進める制度改定への的確に対応することなどにより、更なる顧客満足度の向上を図ってまいります。

以上により、連結業績の見通しにつきましては、売上高840億円(前年同期比4.4%増)、営業利益453億円(前年同期比4.8%増)、経常利益493億円(前年同期比7.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益352億円(前年同期比0.3%増)を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準に基づき連結財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRS(国際財務報告基準)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	119,972	129,612
受取手形及び売掛金	9,626	10,110
商品及び製品	142	102
仕掛品	210	198
原材料及び貯蔵品	40	0
その他	1,135	1,138
貸倒引当金	△1	△2
流動資産合計	131,125	141,160
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,134	30,945
減価償却累計額	△3,121	△3,317
建物及び構築物(純額)	3,012	27,628
土地	27,849	28,193
建設仮勘定	15,788	—
その他	3,130	4,452
減価償却累計額	△2,032	△2,425
その他(純額)	1,097	2,026
有形固定資産合計	47,747	57,847
無形固定資産		
その他	106	122
無形固定資産合計	106	122
投資その他の資産		
投資有価証券	61,663	60,501
会員権	207	207
敷金及び保証金	831	847
繰延税金資産	2,955	3,577
その他	275	335
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	65,929	65,465
固定資産合計	113,784	123,435
資産合計	244,909	264,596

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,029	3,708
未払法人税等	7,188	7,393
前受収益	1,166	1,237
賞与引当金	2,372	2,372
役員賞与引当金	100	116
その他	4,124	3,616
流動負債合計	18,981	18,444
固定負債		
退職給付に係る負債	6,290	5,942
資産除去債務	187	156
再評価に係る繰延税金負債	1	1
その他	972	1,657
固定負債合計	7,451	7,758
負債合計	26,432	26,203
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,178	19,178
資本剰余金	19,530	19,530
利益剰余金	196,183	218,159
自己株式	△22,139	△22,140
株主資本合計	212,752	234,728
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,553	5,177
土地再評価差額金	△1,705	△1,705
退職給付に係る調整累計額	△124	192
その他の包括利益累計額合計	5,723	3,663
純資産合計	218,476	238,392
負債純資産合計	244,909	264,596

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	74,163	80,488
売上原価	23,221	24,159
売上総利益	50,941	56,328
販売費及び一般管理費	13,002	13,090
営業利益	37,939	43,238
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	545	562
投資有価証券売却益	61	—
持分法による投資利益	3,564	3,455
受取賃貸料	2	42
その他	92	57
営業外収益合計	4,270	4,120
営業外費用		
投資有価証券売却損	159	—
投資有価証券評価損	—	273
賃貸費用	120	1,068
その他	1	4
営業外費用合計	282	1,346
経常利益	41,927	46,012
特別利益		
償却債権取立益	2,060	2,498
その他	0	1
特別利益合計	2,060	2,499
特別損失		
償却債権取立費用	—	500
固定資産除却損	1	3
投資有価証券評価損	—	103
その他	0	0
特別損失合計	2	606
税金等調整前当期純利益	43,985	47,905
法人税、住民税及び事業税	11,888	13,004
法人税等調整額	△126	△194
法人税等合計	11,762	12,809
当期純利益	32,223	35,096
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	32,223	35,096

(連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	32,223	35,096
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△973	△1,237
退職給付に係る調整額	△100	269
持分法適用会社に対する持分相当額	1,051	△1,091
その他の包括利益合計	△22	△2,059
包括利益	32,201	33,036
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	32,201	33,036
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	19,178	19,530	175,078	△22,138	191,649
当期変動額					
剰余金の配当			△11,118		△11,118
親会社株主に帰属する当期純利益			32,223		32,223
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	21,104	△0	21,103
当期末残高	19,178	19,530	196,183	△22,139	212,752

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	7,406	△1,705	44	5,745	197,394
当期変動額					
剰余金の配当					△11,118
親会社株主に帰属する当期純利益					32,223
自己株式の取得					△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	146		△168	△22	△22
当期変動額合計	146	—	△168	△22	21,081
当期末残高	7,553	△1,705	△124	5,723	218,476

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	19,178	19,530	196,183	△22,139	212,752
当期変動額					
剰余金の配当			△13,120		△13,120
親会社株主に帰属する当期純利益			35,096		35,096
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	21,976	△0	21,975
当期末残高	19,178	19,530	218,159	△22,140	234,728

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	7,553	△1,705	△124	5,723	218,476
当期変動額					
剰余金の配当					△13,120
親会社株主に帰属する当期純利益					35,096
自己株式の取得					△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△2,376		316	△2,059	△2,059
当期変動額合計	△2,376	—	316	△2,059	19,915
当期末残高	5,177	△1,705	192	3,663	238,392

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	43,985	47,905
減価償却費	599	907
持分法による投資損益(△は益)	△3,564	△3,455
投資有価証券売却損益(△は益)	98	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	376
償却債権取立益	△2,060	△2,498
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	9	16
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2	△0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	142	41
受取利息及び受取配当金	△549	△565
売上債権の増減額(△は増加)	△830	△484
たな卸資産の増減額(△は増加)	77	91
仕入債務の増減額(△は減少)	494	△321
その他	442	838
小計	38,847	42,852
利息及び配当金の受取額	1,642	1,932
法人税等の支払額	△10,646	△12,786
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,843	31,999
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,509	△12,490
有形固定資産の売却による収入	0	3
無形固定資産の取得による支出	△27	△39
投資有価証券の取得による支出	△151	△1
投資有価証券の売却による収入	180	200
償却債権の回収による収入	2,060	2,498
その他	238	592
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,209	△9,238
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△11,118	△13,120
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,119	△13,120
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	10,514	9,640
現金及び現金同等物の期首残高	109,458	119,972
現金及び現金同等物の期末残高	119,972	129,612

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社の事業は主に企業情報システムのシステムインテグレーション事業、システムサポート事業、オフィスオートメーション事業及び業務用パッケージソフト事業を行っております。

なお、業務用パッケージソフト事業は持分法適用の関連会社で行っているため報告セグメントには含まれておりません。

また、報告セグメントの主要品目は以下の表のとおりです。

報告セグメント	主要品目
システムインテグレーション	顧客に対する総合情報システム
システムサポート	ハードウェア保守 システム運用サポート
オフィスオートメーション	OA機器一般及びコンピュータサプライ用品

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価額に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産及びその他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自2018年4月1日 至2019年3月31日)

(単位: 百万円)

	システムインテグレーション	システムサポート	オフィスオートメーション	計	調整額(注)1	連結財務諸表計上額(注)2
売上高						
外部顧客への売上高	38,005	27,057	9,100	74,163	—	74,163
セグメント間の内部売上高又は振替高	5	—	438	443	△443	—
計	38,010	27,057	9,538	74,606	△443	74,163
セグメント利益	19,024	17,364	1,550	37,939	—	37,939
セグメント資産	18,343	10,027	11,523	39,894	205,014	244,909
その他の項目						
減価償却費	342	244	12	599	—	599
持分法適用会社への投資額	1,207	—	—	1,207	43,224	44,432
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	505	359	8	873	9,658	10,532

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の△443百万円は、セグメント間取引の消去の額であります。

(2) セグメント資産の205,014百万円並びに有形固定資産及び無形固定資産の増加額の9,658百万円は全社資産であり、その内容は当社での余資運用資金(現金・預金及び有価証券)、長期投資資金(投資有価証券、会員権及び長期預託金)、本社用地、及び繰延税金資産であります。

(3) 持分法適用会社への投資額の43,224百万円は、報告セグメントに含まれておりません。

2. セグメント利益は連結損益計算書の営業利益と一致しております。また、セグメント資産は連結貸借対照表の総資産額と一致しております。

当連結会計年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

(単位:百万円)

	システムインテ グレーション	システムサポ ート	オフィスオート メーション	計	調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	39,465	31,338	9,685	80,488	—	80,488
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	7	—	600	608	△608	—
計	39,472	31,338	10,285	81,096	△608	80,488
セグメント利益	20,512	21,035	1,690	43,238	—	43,238
セグメント資産	18,437	11,357	12,774	42,570	222,026	264,596
その他の項目						
減価償却費	397	315	10	723	—	723
持分法適用会社 への投資額	1,332	—	—	1,332	44,096	45,429
有形固定資産及 び無形固定資産 の増加額	1,178	935	29	2,143	10,863	13,007

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の△608百万円は、セグメント間取引の消去の額であります。

(2) セグメント資産の222,026百万円並びに有形固定資産及び無形固定資産の増加額の10,863百万円は全社資産であり、その内容は当社での余資運用資金(現金・預金及び有価証券)、長期投資資金(投資有価証券、会員権及び長期預託金)、本社及び賃貸等不動産の用地及び建物並びに繰延税金資産であります。

(3) 持分法適用会社への投資額の44,096百万円は、報告セグメントに含まれておりません。

2. セグメント利益は連結損益計算書の営業利益と一致しております。また、セグメント資産は連結貸借対照表の総資産額と一致しております。

b. 関連情報

1. 製品及びサービスごとの情報

前連結会計年度(自2018年4月1日 至2019年3月31日)及び当連結会計年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため省略いたします。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

前連結会計年度(自2018年4月1日 至2019年3月31日)及び当連結会計年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

本邦以外の外部顧客への売上高がないため該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

前連結会計年度(自2018年4月1日 至2019年3月31日)及び当連結会計年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

本邦以外に所在している有形固定資産がないため該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

前連結会計年度(自2018年4月1日 至2019年3月31日)及び当連結会計年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

単一の外部顧客への売上高が、連結損益計算書の売上高の10%を超えないため記載しておりません。

c. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前連結会計年度(自2018年4月1日 至2019年3月31日)及び当連結会計年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

該当事項はありません。

d. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

前連結会計年度(自2018年4月1日 至2019年3月31日)及び当連結会計年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

該当事項はありません。

e. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

前連結会計年度(自2018年4月1日 至2019年3月31日)及び当連結会計年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	2,456.16円	2,680.06円
1株当たり当期純利益金額	362.26円	394.56円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	－円	－円

(注1) 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (百万円)	32,223	35,096
普通株主に帰属しない金額(百万円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(百万円)	32,223	35,096
期中平均株式数(株)	88,950,576	88,950,476

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

受注及び売上の状況

①受注実績

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)		当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)		増 減
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額
システムインテグレーション事業	35,241	46.8	39,191	46.0	3,950
システムサポート事業	31,062	41.3	36,443	42.7	5,380
オフィスオートメーション事業	8,968	11.9	9,609	11.3	641
合 計	75,272	100.0	85,245	100.0	9,972

②売上実績

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)		当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)		増 減
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額
システムインテグレーション事業	38,005	51.2	39,465	49.0	1,459
システムサポート事業	27,057	36.5	31,338	38.9	4,280
オフィスオートメーション事業	9,100	12.3	9,685	12.1	584
合 計	74,163	100.0	80,488	100.0	6,325

以上